

小平市教育委員会は 子ども一人一人のニーズに応じた指導・支援をめざします

各学校での取組

各校では、子ども一人一人のニーズに応じた指導・支援が行えるよう、教職員の特別支援教育に関わる研修会を実施し、指導・支援方法の充実に努めます。



担任・授業担当者等

授業や学級活動などにおいて、気になる子どもがいたら見過ごすことなく、特別支援教育コーディネーターに連絡をする。

特別支援教育コーディネーター（*1）

特別支援教育コーディネーターには、支援を必要とする子どもや保護者に対して、適切な支援をするために、校内の教職員や関係機関・専門機関と連携・調整を行う。

*1…校長が自校の教員から指名する。校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整及び保護者に対する学校の窓口として、特別支援教育に関するコーディネーターの役割をする。

保護者や子どもからの相談



子どもへの具体的な支援の内容（例）

- 声かけや指示の方法の工夫
- 落ち着ける場所の確保
- 子どもと教師とのルールづくり
- 家庭と学校との役割確認
- 個別の教育支援計画の作成（*2）
- 個別指導計画の作成（*3）

小平市立学校の教員は、「特別支援教育の視点を基盤にした学校教育の推進」（小平市教育委員会 平成24年3月作成）のリーフレットの内容を基に、日々の教育活動の取組を実施・評価・改善していきます。

*リーフレットの内容は、小平市教育委員会ホームページに掲載しております。

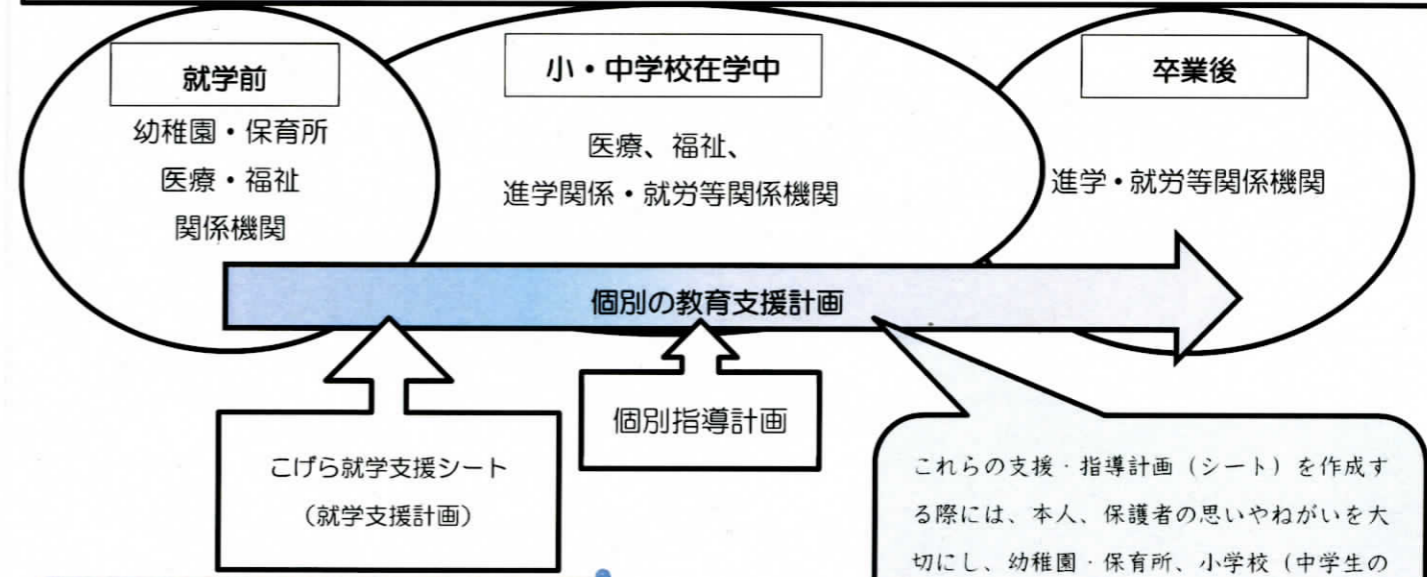
校内委員会

校内委員会は、定期的あるいは必要に応じ開催する。学校生活において困難さを感じている子どもの実態把握及び支援の在り方について検討する。

- ・保護者の思いや考え
- ・巡回相談員からのアドバイス
- ・入学前の幼稚園・保育所・学校（中学生の場合）や医療・福祉など関係機関での指導・支援の方法・内容

適切な支援を検討

学校は、学校生活において困難さを感じている子どもの教育的ニーズを把握し、本人・保護者・関係機関と連携していきます。その1つの手だてとして下記の計画を活用します。



これらの支援・指導計画（シート）を作成する際には、本人、保護者の思いやねがいを大切に、幼稚園・保育所、小学校（中学生の場合）、医療、福祉など本人を取り巻く関係機関との連携を大切にする。

こげら就学支援シート（就学支援計画）

家庭や幼稚園・保育所等における子どもの様子や保育の様子や配慮などを小学校に引き継ぎ、楽しい学校生活が送れるよう、橋渡しをする資料です。入学前の2月中に保護者が就学先の小学校に提出します。

具体的な記入内容：得意なこと、好きなこと、気になること、幼稚園・保育所の指導・支援内容、関係機関など

個別の教育支援計画（*2）

子どものニーズを的確に把握し、教育の視点から適時・適切な支援を行うことができるように、長期的な視点で学齢期を通じて一貫した支援を行うことをねらいとしています。そのため、教育のみならず、福祉、医療、保健、労働など関係機関との連携を大切にしていきます。

具体的な記入内容：子どものプロフィール、現在・将来についての展望、支援の目標、必要な支援内容、関係機関の支援内容

個別指導計画（*3）

子ども一人一人の状況や発達段階に基づき、指導目標や内容、方法等の手だてを学習、生活、対人関係など、学校生活全体にわたって作成します。

具体的な記入内容：本人や保護者の願い、子どもの実態、目標（何を、いつまでに、どの程度できるようにするか）

